

おうめし 青梅市の みどりを みんなで そだてよう！

おうめし
きほんけいかく
— 青梅市みどりの基本計画 —

こども版



1

おうめし

青梅市にはどんな“みどり”があるのでしょうか？



おうめし いろいろ
青梅市には、色々な“みどり”がたくさんあります。

“みどり”には、山や川、公園の木や草花だけではなく、畑や田んぼ、学校などの公共施設の植木や花壇、神社やお寺にある林、家の庭木なども含まれています。

1 御岳山などの山

おうめし せいふ みたけさん やま
青梅市の西部には、御岳山をはじめとする山々が
広がり、わたしたちの暮らしに、きれいな空気を届
けています。



みたけさん なが
御岳山からの眺め

4 市街地のみどり（公園、街路樹）

こうえん がいろじゅ しがいち たよう
公園や街路樹など、市街地には多様なみどりが
あります。四季によって、ウメやツツジ、ハナショ
ウブなどが花を咲かせ、わたしたちを楽しませて
くれます。開花時期に合わせてイベントが開催さ
れ、青梅市以外から多くの人々が訪れます。



ふきあげ こうえん
吹上しょうぶ公園

2 丘陵地（青梅の森、里山など）

きゅうりょううち おうめ もり さとやま
市街地を包み込むように位置する、霞丘陵や長
淵丘陵は、里山としての維持・保全活動がされてい
ます。



かすみきゅうりょう
霞丘陵

5 のうち 農地

ふる のうぎょう ば いとな
古くから農業の場として営ま
れてきた農地は、現在は市民農園
などとしても親しまれています。



しみんのうえん
市民農園

青梅市にあるみどりの特徴

3 多摩川や霞川、成木川などの河川（崖線樹林）

たまがわ かすみがわ なりきがわ かせん がいせんじゅりん
青梅市には多くの河川が流れしており、多摩川沿
いなどにある崖線樹林は、貴重な水とみどりの空
間となっています。



たまがわぞ がいせんじゅりん
多摩川沿いの崖線樹林

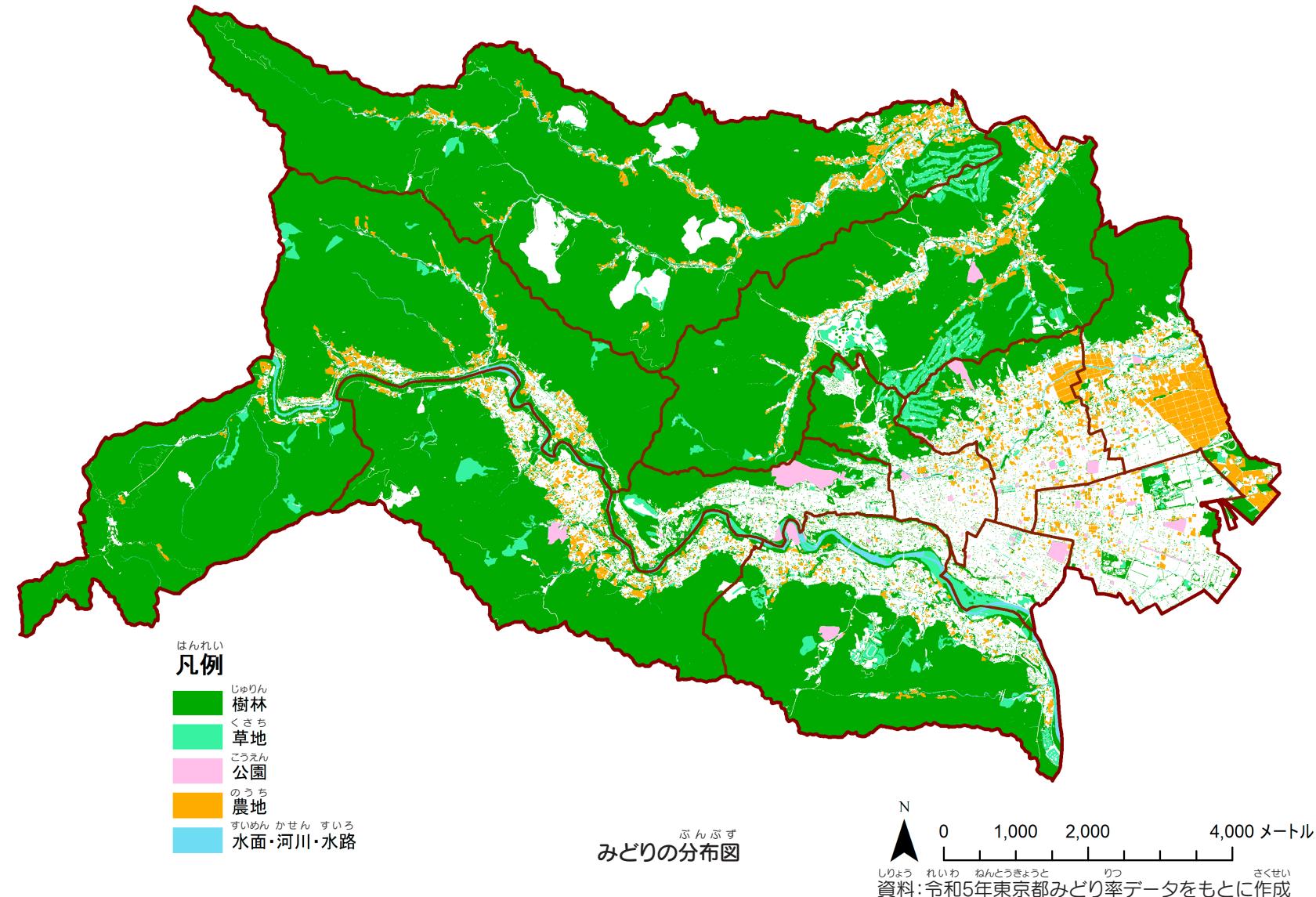
2

いま
おうめし

今の青梅市の“みどり”はどうなっているのかな？



青梅市全体の80%近くが“みどり”で覆われています。これは、市の面積の半分以上が森であることに加えて、多摩川のような大きな川や農地も多いことから、“みどり”的割合が高くなっています。



きのう “みどり”にはどんな機能があるのでしょうか？



みちか
身邊にある“みどり”には、色々な機能があり、わたしたちの生活に様々な効果をもたらしています。

しゃかい
社会がもっと暮らしやすくなるために、これら“みどり”的な機能を活用することをグリーンインフラといいます。

おうめし
青梅市では、グリーンインフラの取組を進めています。

環境保全機能（生活環境をまもる機能）

植物は、空気をきれいにしたり、不快な音や揺れをおさえ、二酸化炭素を吸収するなど、わたしたちの生活を過ごしやすくしてくれます。また、山や水辺は、生き物たちのすみかとなっています。

防災・減災機能（災害から生活をまもる機能）

まちの中にある川や農地、道路の木は、火事が広がることを防いでくれます。公園などの広い場所は、災害が起きたときに、避難する場所になります。また、林や畑は、降った雨をゆっくりと地面に浸透させるため、水害を防ぐ効果もあります。

景観形成機能（まちの景色を良いものにする機能）

お寺や神社などにある古い立派な木は、その場所に昔からある大切なとして、みんなに愛されています。山や丘、川などは、その場所だけの特別な景色を見せてくれます。また、まちにある木や花は、まちをやさしく、あたたかい雰囲気してくれます。

コミュニティ形成機能（色々な人とつながりをつくる機能）

公園や水辺などは、子どもからお年寄りまで、みんなが安全に遊んだり、運動したり、休んだりできる大切な場所です。みんなで公園の掃除や管理をすることで、地域のつながりが強くなります。また、自然の中で遊んだり、農業体験などをすることは、健康づくりにもつながります。

地域振興機能（地域に活気をうみだす機能）

みどりが多く住みやすいまちは、多くの人を引きつけます。山や畑は、木材や農畜産物の生産の場となるため、林業や農業が盛んになることで地域が元気になります。



いま 今ある“みどり”をみんなで守っていくために、「みどりの基本計画」という計画をつくりました。
きほんけいかく まも
きほんけいかく きほんほうしん もくひょうとりくみ さだ
みどりの基本計画では、基本方針や目標、取組を定めています。

きほんほうしん 基本方針1 みどりをまもる

わたしたちの生活は、豊かな自然に支えられてきました。これからも
自然を大切にしたまちづくりのために、みどりをまもる活動を続け、みど
りを未来に残していきます。



もくひょう 目標

みどりをまもる方法の一つに、国や東京都、青梅市が法律などでみど
りをまもるためのルールを決めることができます。みどりをまもる活動
を引き続き行うことで、みどりの量を
減らさないことを目標とします。



かつぬまじょうせきれきしかんきょうほせんちいき
勝沼城跡歴史環境保全地域

とりくみ 取組

- い もの
・生き物たちのすみかとなる山地や
さんち
きゅうりょうち ほぜん
丘陵地の保全
- かせん がいせんじゅりん ほぜん
・河川や崖線樹林の保全 など

きほんほうしん 基本方針2 みどりを育てる

安全・安心で住みやすく、健康に過ごせる場所を増やすため、公園や道
路、家の庭など、まちの中のみどりを育てる活動を進めていきます。



もくひょう 目標

みどりを育てる活動の一つに、公園の整備があります。
なか ばかり こうえん せいび
まちの中でみどりにふれあえる場所である公園の整備を進め、もっと
りょう めざ
利用してもらうことを目指します。

とりくみ 取組

- こうえん こうえん かいしゅう
・公園づくりや公園の改修
- かだん
・コミュニティ花壇やみどりの
ふきゅう
カーテンの普及 など



かぼくえん ゆうぐ
花木園の遊具

きほんほうしん 基本方針3 みどりを活かす

みどりをうまく使うことで、防災や健康づくりに役立てたり、地域の人たちのつながりを強くし、まち全体をにぎやかにしていきます。



もくひょう 目標

みどりを活かす活動の一つに、イベントの参加があります。
参加のしやすいイベントを増やしたり、イベントを通して植物や生き物について勉強や体験することで、みどりの楽しさをより感じてもらえることを目指します。

とりくみ 取組

- たまさんざい おうめさんざい かつよう
・多摩産材や青梅産材などの活用
- い きょういく じっし など
・みどりを活かした教育の実施



たまさんざい かつよう こうえんしせつ
多摩産材を活用した公園施設

きょうつうほうしん 共通方針 みどりを共につくる

みどりを「まもる」、「育てる」、「活かす」という3つの目標を達成するために、色々な人が力を合わせて活動を進め、魅力的なまちをつくっていきます。



もくひょう 目標

みどりを共につくる活動の一つに、ボランティア活動があります。
ボランティア活動や講座を通して、たくさん的人々に青梅市のみどりに関わってもらうことを目指します。

とりくみ 取組

- かつどう しえん
・ボランティア活動の支援
- かん じょうほうはっしん など
・みどりに関する情報発信



たいけん
ボランティア体験

5

“みどり”のためにわたしたちができることは？



“みどり”との関わり方は、「まもる」、「育てる」、「活かす」、「共につくる」といったように様々です。

“みどり”のために、わたしたちは何ができるでしょうか。自分でできること、みんなで一緒にできることを考えてみましょう。

学校でのみどりづくり

学校で、ビオトープやみどりのカーテンなど
を設置し、みどり豊かな場所を増やしていきま
しょう。



学校ビオトープ

おうちでのみどりづくり

生け垣やオープンガーデンといった、個人の
家で、きれいに育てた庭などをみんなに見ても
らい、交流する活動をしています。



オープンガーデン

レクリエーションの場としての活用

山などにはいくつものハイキングや登山の
コースがあります。多くの人が訪れ、みどりとの
関わりを深めています。



ハイキングの様子(御岳山)

ボランティア活動

青梅市では、森林やみどりを守るた
めに、たくさんのボランティアが活動し
ています。

ボランティアが自分たちで考えて活
動できるように、また、もっと活動でき
る場所が増えるようにしていきます。



りょくちかんり
緑地管理ボランティア

みどりに関するイベント

青梅市では、青梅の森での環境学
習や、ホタルの観察会など、自然につ
いて楽しく学べるイベントをたくさん
開いています。

興味のあるイベントに参加してみ
ましょう。



しんすいじぎょう
親水事業

青梅市みどりの基本計画 こども版

令和7(2025)年12月 発行

発行 青梅市

編集 青梅市環境部公園緑地課

〒198-8701 東京都青梅市東青梅1-11-1

電話 0428-22-1111(代表)

青梅市ホームページ <https://www.city.ome.tokyo.jp>



この印刷物は再生紙を
使用しています。



この印刷物は植物インキを
用いて印刷されています。